

【オレンジコラム 第1号】

2021年9月現在の全国の高齢者人口は3,640万人、高齢者人口率は29.1%となりました。2025年には5人に1人、20%が認知症になるという推計もあります。認知症の要因は加齢が要因の一つであることから、超高齢社会で暮らす私たち誰もが認知症になりうる、他人ごとではないということなのです。

三田市には令和4年で、推定2,700人近くの方が認知症の診断を受けられており、急激な高齢化に伴い3年後にはおよそ3,000人に達するといわれています。(いきいき安心プラン21より参照)

もちろん認知症になるかどうかは誰も選べるものではありません。

「認知症となったときに様々なことをあきらめるのではなく、その人らしく地域で安心して認知症になれるまちづくりを目指したい。」

その一環として、認知症に関する情報発信の場を作り、より多くの人に伝えていきたいと考えています。

公式LINE開設を機に、“オレンジコラム”を定期的に発信します。「どうしてオレンジ?」と思われたあなた、そう、私も最初は思いました。調べてみると…認知症のシンボルカラーは、柿色をした「オレンジ」です。これは、江戸時代に活躍した陶工・酒井田柿右衛門が、柿の実の色からインスピレーションを得て作り出した赤絵陶器が海外で高い評価を受けたことをふまえ、認知症の理解も日本から世界に広く知れ渡るようにと願いが込められているそうです。

今後も認知症に関する情報発信企画を進めていますので、ご期待ください。また「こんな内容を掲載してほしい」というリクエストもお待ちしています!

ご意見は、三田市地域包括支援センター(079-559-5941)まで